



Epson Photo Grand Prix 2018

エプソンフォトグランプリ2018入賞作品集



【「楽園の天使たち」坂の上の小さな幼稚園】

たなべ 弘年 兵庫県

作品サイズ:A3ノビ、159枚組作品 使用プリンター:エプソン「SC-PX5Vi」 使用用紙:エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」



インタビュー

たなべ 弘年 さん



■ なんと2年連続のグランプリ入賞! ご感想はいかがですか?

たなべ: ご連絡いただいた時は、びっくりしました。2年続けてグランプリをいただけるとは本当に夢のようです。長い間、地道に努力してきたことを認めていただけたとの思いで、胸が熱くなりました。審査員の田沼先生、三好先生に心より感謝申し上げます。また今回の撮影にご協力いただいている、幼稚園の先生方、保護者会の皆様、園児たちに、厚くお礼を申し上げたいと思います。

■ 審査員講評

田沼武能

この作品で感心するのは、撮影者が被写体である子供達にとって、空気のような存在にまでなっているということです。子供達に特別な演出をさせることなく、普段の生活をありのままに写し取っています。それが、この作品の一番強い部分だと思います。泣いているシーンや騒いでいるシーンなど、様々なシーンがありますが、どれも子供達が素直に楽しんでいる様子が伝わってきます。撮影者の信念や感性といったものも感じられ、かつ見ていて爽やかな気持ちにさせてくれる、本当に素晴らしい作品です。

■ 今回の作品の視点はどのようなものでしょうか?

たなべ: 尾道最古の歴史ある、名門幼稚園の園児たちの日常生活を、四季の行事を含めて、撮影しています。自由自在に幼稚園生活をエンジョイしている姿や、時にははらはらさせられたり、笑いがおきたり。それを優しい眼差しで見守る先生との絆や、自由でいながら、お約束ごとをちゃんと守りながら学んでいる小さな園児たちの能力の高さに、感心しながら撮影しました。

■ フォトコンテストや、プリントへのこだわりはどのようなものでしょうか?

たなべ: 私にとってコンテストとは、勉強の場と考えています。審査の先生の講評は、写真の見方や理解するための大きな指針となりました。昨年グランプリをいただいてからも、新たな目標を持ちながら、作品づくりを楽しんでいます。プリントについては、信頼しているエプソンのプリンター・用紙を使用し、特別な意図がないかぎり、ノーマルに仕上げることを基本にしています。今後も尾道を撮り続けていきます。時間はかかりますが、新しいテーマにも取り組んでいきたいと思っています。

三好和義

約150枚というボリュームに驚かされましたが、何枚か見たときに“これは凄いぞ”という予感がありました。1枚1枚の完成度が高く、子供達との距離感が空気のように自在に取れていて、今までに見たことのないような世界観で撮られている点は素晴らしいと思います。見る人がまるで自分達も幼稚園の一員であるかのような錯覚を覚えるような独自の視点です。また、一緒に写っているお母さん方も自然な表情で、幼稚園に何度も通って、その場に馴染んでいった努力の成果といえるのではないのでしょうか。

■ 優秀賞



【クマタカの肖像】 佐藤 圭 北海道

作品サイズ:A3、6枚組作品 使用プリンター:エプソン「PX-5V」 使用用紙:エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」

■ 審査員講評

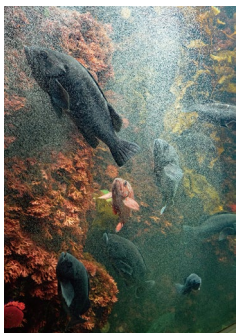
田沼武能

組写真で鳥(クマタカ)が大写しになっているものがトップの写真となっていますが、野生の険しい目をしているのが印象的で自然の中で生きている鳥の面構えが魅力のひとつになっています。姿勢も少し前屈みで、敵に対する防衛本能のような迫力が感じられ、撮影者もそうしたものを感じながら撮ったのではないかと思います。私もカワセミ撮影などに挑戦したことがあります、鳥は一朝一夕では撮れず、その鳥の習性を勉強して熟知した上で狙っているからこそ撮れた素晴らしい作品です。

三好和義

この作品は、鳥を被写体に非常に真面目に正面から取り組んだ作品です。写っている鳥はどれもそれほど大きくない被写体ではありますが、どの写真も毛並みがシャープで、リアルに写されている点が魅力のひとつとなっています。それは鳥が飛んでいるシーンであっても同様で、「こんなにシャープに写せるんだ」と感心させられるほど克明に写っている点は見事だと思います。組写真になっていますが、その組み方も過不足なくバランス良くまとまり、鳥に対する愛情が感じられる見応えのある作品です。

■ 入選



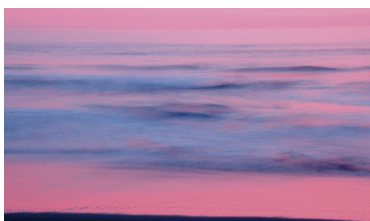
【磯波の碎ける気泡の中で】
岡元義亮 東京都
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター:
エプソン「PX-7V」



【最後の主張】
大澤 勇 神奈川県
作品サイズ: A3ノビ、単作品
使用プリンター:
エプソン「PX-5V」



【精霊の舞】
北村健三 高知県
作品サイズ: A3、単作品
使用プリンター:
エプソン「PX-5V」



【幸せ色の朝】
崎田憲一 東京都
作品サイズ: A3、4枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-5V」



【雪月下】
松井大興 新潟県
作品サイズ: A3ノビ、3枚組作品
使用プリンター: エプソン「PX-7V」



審査員賞



田沼武能賞

[台風の贈り物] 向後寛治 千葉県

作品サイズ：A3、4枚組作品 使用プリンター：エプソン「PX-5002」
 使用用紙：エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」

三好和義賞

[只今しっけい中] 吉原邦明 千葉県

作品サイズ：A3ノビ、単作品 使用プリンター：エプソン「EP-50V」
 使用用紙：エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」

審査員講評

田沼武能

「台風の贈り物」というテーマで撮られた作品ですが、台風後の晴天下で非常に荒れた風が吹く、そのすさまじさといったものや、水が波を打ってしぶきのはじけ飛ぶ、といった地球上に起きた気候現象が伝わり、躍動感があふれています。この迫力ある作品に、自然の力の恐ろしさを感じられると一層奥行きが出ると思います。作者は、本コンテストの常連でもあり、表現力やプリントの技術力といった点では申し分ない作品です。

三好和義

たわわに実った柿の木に5頭以上のサルが居るといった写真ですが、大きくプリントされ、1頭1頭のサルの表情まで見えてくる程、緻密に描写されているのが、ひとつの魅力になっています。これが動物園などではなく、野生の中で行われているという面白さがあり、背景が暗いため、絵画的にも見えて美しさも感じられます。加えて、逆光で撮られているのでサルの毛並みも美しく描写されています。こんなシーンがよく撮れたな……という驚きもあり、見れば見るほど面白い一枚です。

佳作



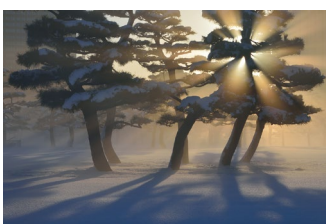
[サンバの獲物] 大塚達男 神奈川県
 作品サイズ：A4、5枚組作品
 使用プリンター：エプソン「PX-7V」



[お仕置き] 若城草良 大阪府
 作品サイズ：A3ノビ、単作品
 使用プリンター：エプソン「EP-50V」



[雪華彩鳥] 石塚佳子 北海道
 作品サイズ：A3ノビ、4枚組作品
 使用プリンター：エプソン「PX-G5300」



[雪・夢幻] 鈴木陽明子 東京都
 作品サイズ：A3、単作品
 使用プリンター：エプソン「EP-10VA」



[ロウソクギンポー湖間帯の暮らす] 今井寛治 岐阜県
 作品サイズ：A4、14枚組作品
 使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」

優秀賞



【旧正月の沖縄】 山中健次 和歌山県

作品サイズ : A3、11枚組作品
 使用プリンター: エプソン「SC-PX3V」
 使用用紙 : エプソン「フォトマット紙」

審査員講評

田沼武能

沖縄は15世紀頃には琉球王国が存在しており、その時代の文化が現在にも伝わっています。作者は正月に訪ね、出会った思い出になるような光景を、一枚一枚の写真に表現しています。それらはエキゾチックでありフォトジェニックでもあります。その坦々と写真に捉えたものを組写真にまとめています。それらを見ると沖縄の現代の生活を表現しており、興味を惹かれる作品になっています。

三好和義

私自身、沖縄に行くことは多いのですが、こうした沖縄の神事はこれまでに見たことがなく、珍しさもあって面白さと驚きを感じました。しかも、白だけでなくカラフルな装飾がなされており、人々の表情なども含め、神事ではありながらも美しさや楽しさが感じられる写真に仕上がっています。とはいえ、人々が拝んでいるシーンがあるなど、神聖な雰囲気も十分に伝わります。行事だけでなく、衣装や色使いのユニークさを含め、シンプルに驚きを感じられた点を評価しました。

入選



【ナイトマーケット】 宮本節夫 奈良県
 作品サイズ : A3ノビ、単作品
 使用プリンター : エプソン「PX-5V」



【お宮参り】 藤本圭樹 埼玉県
 作品サイズ : A3ノビ、単作品
 使用プリンター : エプソン「SC-PX5V」



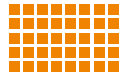
【出会いの散歩道】 忽那博史 埼玉県
 作品サイズ : A3ノビ、15枚組
 使用プリンター : エプソン「PX-5V」



【以心伝心】 新田幸雄 千葉県
 作品サイズ : A4、単作品
 使用プリンター : エプソン「EP-979A3」



【かがやき】 弓場康廣 和歌山県
 作品サイズ : A4、単作品
 使用プリンター : エプソン「PX-5V」



審査員賞



田沼武能賞

【「追想」・・・二人三脚46年、現役卒業の日を振り返る】上原 ゆうこ 宮崎県

作品サイズ：A3、31枚組作品 使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」
使用用紙：エプソン「Velvet Fine Art Paper」



三好和義賞

【あした輝く国】久保田 稔 長野県

作品サイズ：A3ノビ、9枚組作品 使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」
使用用紙：エプソン「UltraSmooth Fine Art Paper」

審査員講評

田沼武能

夫婦で46年間に亘って営んできた天ぷら製造所を閉業する直前に撮らせていただいたという、ご夫婦にとって記念すべき日に撮影した作品です。夫婦でニコニコして写っている幸せそうな写真を見ると、それだけでも素晴らしいフォトストーリーです。ご夫婦それぞれ仕事場に立っている写真には、生半かな覚悟で天ぷらを揚げているのではないという印象が強く感じられます。人間の46年間の人生のドラマがこの作品に写し込まれており、また、ご夫婦の人生に見合った重厚なプリントに仕上がっている点も魅力をプラスしています。

三好和義

“幸せな国”と言われているブータンのお祭りや街、人々を写したスナップ写真で、昭和20年代の昔の日本を見ているかのような素朴な印象を受ける作品です。また、色鮮やかな民族衣装も美しく、全体として良い瞬間がスナップできていると思います。ブータンは、今後さらに近代化が進むと思われる国なので、歴史的にも意味のある写真になるのではないかと思います。プリントも非常に質が高く、使用したUltraSmooth Fine Art Paperと作品がよくマッチしていると感じました。

佳作



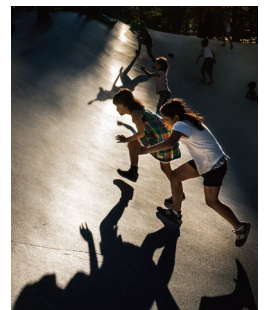
【注目】丸喜翔太 東京都
作品サイズ：A3ノビ、単作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」



【息子の一年】加藤徹也 栃木県
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」



【夏の日】松田 勝 愛知県
作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5V」



【ダッシュ】山形典夫 北海道
作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン「EP-4004」



【泥んこ神事】小川照夫 千葉県
作品サイズ：A3、11枚組作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ」

優秀賞（個人制作）



【きずな】 下條良菜 北九州市立沼小学校 福岡県

作品サイズ：A4、単作品 使用プリンター：エプソン「EP-4004」 使用用紙：エプソン「写真用紙クリスピー<高光沢>」

審査員講評

田沼武能

水族館のプールで飼育員がシャチに芸をさせているシーンをスナップしているのだと思います。とはいえ、シャチの顔と飼育員の顔を見ると、その阿吽の呼吸のようなものが感じられ、また、波の具合やレンズの選択なども素晴らしく、とても10歳の少女が撮ったとは思えない完成度の高さに驚かされます。興味を持ったものに素直にレンズを向けて撮ったものと思いますが、今後、彼女がどういった被写体に関心を持ち、どういった写真に興味を持っていくのか期待したいところです。

三好和義

作品として完成度が非常に高く、タイトルどおり人物とシャチの「絆」が感じられる点を評価しました。また、構図やシャチの質感描写、波の位置や色再現などの面も優れています。撮影者は小学校4年生の10歳とのことで二重の驚きがあったのですが、良い作品に年齢は関係ないとはいえ、この年齢でこんな写真が撮れるのか……と凄さを感じました。今後も興味を持った被写体に積極的にカメラやレンズを向けて、素晴らしい作品を撮り続けていただけたらと思います。

審査員賞



【ゴール！】 福田一貴
東京都立大学 神奈川県
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-100S」



【あの夏に変わる時】
東京都立小石川中等教育学校
物理研究会 写真班 東京都
作品サイズ：A3、24枚組作品
使用プリンター：エプソン「EP-10VA」



【里山日常】
和歌山県立神島高等学校 写真部
和歌山県
作品サイズ：A4、20枚組作品
使用プリンター：エプソン「SC-PX5V II」



【さるびあ丸】 松江 丞の進
神津島村立神津中学校
東京都
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS iP8730J」

■ 優秀賞（グループ制作）



【 彩染譚 】 埼玉栄高等学校 写真部 埼玉県

作品サイズ：A3、23枚組作品 使用プリンター：エプソン「SC-PX5VⅡ、PX-5500」 使用用紙：ビクトリコ「ビクトリコプロ・セミグロスペーパー」

■ 審査員講評

田沼武能

埼玉栄高校の皆さんは、例年とても内容の濃い作品でご応募いただいておりますが、今回は少し渋いテーマです。染め物工場で大漁旗を作っている職人さん達の様子を写しています。少しアンダーに仕上げることで、大漁旗に対する思い入れや表現を上手くまとめているのですが、単にアンダーにするだけではなく、見せるべき色はきちんと再現したうえで、職人さん達の仕事を強調するといった手法で、ドラマティックな演出がなされている点はさすがです。

三好和義

色やプリントの調整も含めて、全体にアンダーに仕上げた作品で重厚な世界観を上手く伝えている作品だと思います。光の使い方なども非常に上手ですね。また、複数人のグループによる作品ではあるのですが、仕上がりに統一感があり完成度やチームワークに優れたグループなのだと思います。テーマ選びも非常にユニークです。大漁旗を手書きで作っている様子を撮っているのですが、職人さん達が集中して緊張感を持って仕事をされている様子がひしひしと伝わってきます。

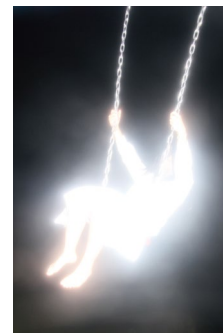
■ 入選



【 爽 】 鈴木隆司
大阪府立生野高等学校 大阪府
作品サイズ：A4、3枚組作品
使用プリンター：
エプソン「SC-PX5VⅡ」



【 野心 】 菅原 進之介
香川県立坂出商業高等学校 香川県
作品サイズ：A4、4枚組作品
使用プリンター：
エプソン「EP-10VA」



【 白宙夢 】
大阪府立生野高等学校 写真部 大阪府
作品サイズ：A4、6枚組作品
使用プリンター：
エプソン「SC-PX5VⅡ」



【 目覚め 】 阿部永果
群馬県立大間々高等学校 群馬県
作品サイズ：A4、単作品
使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-100S」



【 ねえ 】 太田 愛有未
福井県立丹生高等学校 福井県
作品サイズ：A3、単作品
使用プリンター：エプソン「PX-5800」

優秀賞



【富士の創りし雲】 蓮野智宏 神奈川県

作品サイズ：A3ノビ、3枚組作品 使用プリンター：エプソン「EP-50V」
 使用用紙：ピクトリコ「GEKKO ブルーラベル」

審査員講評

田沼武能

富士山は、1日に何万人もの人に撮られていると言われていますが、天候や雲の変化などにより、様々な表情を見せます。動かない富士山がまるで生きているかのように感じられる程です。そうした変化は、作者の考え方などによるものだと思いますが、今回の作品はそれらをモノクロ化したことで、重厚な光景に仕上がっています。自然の変化を、こうした作品に撮るには、足繁く通う必要があり、その努力の成果が、喜びや楽しみになって現れるということが、強く感じられる作品です。

三好和義

富士山は、コンテストへの応募を含め、数多く撮られている題材ですが、この作品では富士山だけでなく、周囲の雲の表情を捉えたものとなっています。それをモノクロに仕上げたことで、少しスピリチュアルな雰囲気を引き出されていて面白いと感じました。内容としては、風によって形作られた雲の形の変化を上手く捉えた作品ですが、それをプリントの仕方や紙の選択により重厚で格調高い仕上がりに昇華させている点が魅力的で、モノクロならではの作品に仕上がっています。

入選



【梯子獅子】 杉江輝美 兵庫県
 作品サイズ：A3ノビ、単作品
 使用プリンター：エプソン「PX-5500」



【悪夢の夜明け】 錦織永治 広島県
 作品サイズ：四切、4枚組作品
 使用プリンター：キヤノン「PIXUS PRO-10S」



【休息】 五十嵐 邦彦 秋田県
 作品サイズ：A3、単作品
 使用プリンター：エプソン「SC-PX5V II」



【水のかたち】 橋本孝一 東京都
 作品サイズ：A2、1枚/A3、3枚組作品
 使用プリンター：エプソン「SC-PX3V」



【バブアニューギニアの人々】 土屋尚幸 東京都
 作品サイズ：A4、13枚組作品
 使用プリンター：エプソン「PX-5V」



■ 審査員賞



田沼武能賞

[秋祭りの日] 樋口良夫 愛媛県

作品サイズ:A3ノビ、5枚組作品 使用プリンター:エプソン「SC-PX5VⅡ」
 使用用紙 :エプソン「写真用紙クリスピア<高光沢>」

■ 審査員講評

田沼武能

お祭りの写真は、カラーで撮ると強い色彩に引き込まれるような仕上がりになってしまいがちです。この作品はモノクロで表現することで、写真を見る人が自分なりに色を置き換えて見ることができ、色以外の情報が引き出されて行事の本質や活気が感じられる写真に仕上げられています。撮影アングルや使用レンズの選択によって、牛鬼の動く様子など、躍動感の感じられるものに仕上がっている点が魅力です。堤防の切れ目で魚釣りをしながら祭りを眺めるスナップ写真が物語の止めとして効いています。

■ エプソンフォトグランプリ2018概要

■ 応募部門

[ネイチャー部門](サイズ:六切・A4以上)

主として自然風景、動植物、昆虫などをテーマとしてプリントされた写真作品。

[ヒューマンライフ部門](サイズ:六切・A4以上)

人物スナップ、都市景観、暮らし、ドキュメンタリーなど主として人々の生活をテーマにプリントされた写真作品。

[モノクロ作品部門](サイズ:六切・A4以上)

自由なテーマで、モノクロで表現されたプリント作品。

[学生部門](サイズ:L判以上)

ジャンルは自然、風景、動植物、人間、暮らしなど、自由なテーマでプリントされた写真作品。

■ 応募作品数

[ネイチャー部門]	5,768作品
[ヒューマンライフ部門]	5,092作品
[モノクロ作品部門]	1,400作品
[学生部門]	1,684作品
合計	13,944作品



三好和義賞

[波濤の記憶] 岩本圭介 北海道

作品サイズ:A3ノビ、4枚組作品 使用プリンター:エプソン「SC-PX5VⅡ」
 使用用紙 :エプソン「UltraSmooth Fine Art Paper」

三好和義

これは、岩礁のシーンをスローシャッターで撮影したり、虹を写し込んだりして組み合わせた写真で、非常に重厚な作品に仕上がっていると思います。加えて、まるで大型カメラで撮影したかのような緻密な描写がなされている点も魅力で、立派な額縁に入れて展示を行ったら、さらに素晴らしい作品になるのではないかと思います。また、同じモノクロでも、この作品のプリントは温黒調と呼ばれる温かみを感じさせる仕上がりで、そうした効果も上手く機能していると思います。

■ 賞・賞金・副賞

[グランプリ]

賞金 100万円 (1名)

副賞 ハイエンドデスクトップPC Endeavor 「Pro5900」

[ネイチャー部門][ヒューマンライフ部門]

- ・優秀賞 賞金30万円(各1名)
- ・審査員賞 賞金10万円(各2名)
- ・入選 賞金 1万円(各5名)
- ・佳作 表彰状(各5名)

[モノクロ作品部門]

- ・優秀賞 賞金30万円(1名)
- ・審査員賞 賞金10万円(2名)
- ・入選 賞金 1万円(5名)

[学生部門]

- ・優秀賞(個人制作) SC-PX5VⅡ(1名)
- ・優秀賞(グループ制作) SC-PX5VⅡ(1グループ)
- ・審査員賞 EP-10VA(4名)
- ・入選 EP-30VA(5名)

■HPアドレス <http://www.epson.jp/photogra/>



田沼武能

今年も迫力のある、内容の整った素晴らしい作品が集まってきました。中でも、昨年グランプリを受賞された、たなべ弘年さんの作品は、プリント約150枚という大作で、立派な個展ができるほどの熱の入れようです。結果、今までに例のない2年連続グランプリ受賞という快挙に繋がりました。そのほかの皆さんも、例えばヒューマンライフ部門では、非常に力強い作品が数多く、本当はもっと多くの方に賞をあげたいと感じられるほどでした。同様にネイチャー部門も新鮮な感性で捉えた素敵な写真が数多く見受けられ、全体に応募作品のレベルが、底上げされている印象です。最近では明らかな失敗作といったものはなく、非常に繊細な部分で差が付いていますので、審査員としては、ある意味嬉しい悲鳴をあげながら選んだ結果といえますね。

Profile

1929年東京都生まれ。1949年東京工業専門学校卒業。木村伊兵衛氏に師事する。高度成長以前の東京の様子や下町の暮らしを撮り始めると共に、世界各地の子供の写真を撮り続ける。『文士』『人間万歳』『輝く瞳世界の子供』『トットちゃんとアフガニスタンの子供たち』『地球星の子どもたち』『武蔵野讃歌』など、数多くの写真集を出版。『ぼくたち地球っこ』『戦後の子供たち』『60億の肖像』『東京わが残像』など写真展も数多く開催。また、33年間にわたりユニセフ親善大使の黒柳徹子さんに同行、親善大使と世界の子供の交流の撮影を続ける。モービル児童文化賞、菊池寛賞など受賞多数。1990年紫綬褒章受章。2003年文化功労者顕彰。現在(社)日本写真著作権協会会長、東京工芸大学芸術学部名誉教授を務める。



三好和義

作品がずらりと並んだ様子は、他にはない壮観さで、ドキドキしながら拝見させていただきました。どの作品が上位にきてもおかしくない、質の高い作品が数多く揃っていました。ネイチャー部門では、透明感や空気感が伝わる作品が多く、描写が緻密で写真ってこんなに繊細な部分まで写るんだと驚かされる作品も多くありました。ヒューマンライフ部門では、肌の色が綺麗で生き生きとした作品が多かったと思います。学生部門は、斬新で楽しみながら撮っている様子が伝わってきました。逆にベテランの皆さんの作品が多かったモノクロ作品部門は、黒の重厚さや使用する紙とのマッチングなど、表現の違いが見られ、作家の個性が感じられる作品が多かったと思います。

Profile

1958年徳島県生まれ。小学生の頃よりカメラに興味を持ち作品作りに励む。中学生の時に地元の新聞に作品が掲載。そのことをきっかけに写真家を目指す。高校時代の二科展入選をはじめ、様々な「最年少」記録を作る。27歳で受賞した木村伊兵衛賞も当時最年少。その後「楽園」をテーマに世界各地のリゾートを撮影。「楽園」は日本にもあると、屋久島、富士山、日本の世界遺産などを撮影。近年は国宝の仏像、京都御所、桂離宮など撮影。30冊を越える写真集を発表している。現在は20年に一度行われる伊勢神宮の式年遷宮を撮影中。代表的な写真集『RAKUJEN』(小学館)『楽園王国TAHITI』(マガジンハウス)『SAHARA!金の砂 銀の星』(文藝春秋)『富士山』(講談社)『世界遺産 屋久島』(小学館)『日本の世界遺産』(小学館)『極楽園』(日経BP)『京都の御所と離宮』(朝日新聞出版)『天平の楽園・東大寺』(求龍堂)など。



エプソンの
フォトポータル

「美しいプリントができると写真がさらに楽しくなる」

プロの写真家のテクニックや、よくご質問のあるプリントに関するお悩みの解決方法をご紹介しますwebページです。

エプソンのフォトポータル

検索

www.epson.jp/katsuyou/photo/



写真愛好家のためのエプソンのSNS

エプソン販売 写真通信

写真を楽しむために、上手にプリントする方法や、生活の中でプリンターを活用するアイデアをご紹介します。

Twitter



@epson_photo_jp

Facebook



@epsonphotojp